



同窓会だより

題字: Sr.パウラ

編集・発行／
聖靈高等学校
同窓会事務局



新校舎の学内めぐり



生徒玄関と新乙女坂



ALSスクエア

礼法室（100畠）

普通教室



同窓生の皆様こんにちは。

日頃は同窓会活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

そして、「ひかりの子寄付」への心あたたまるご協力をいただき感謝しております。

さて、新校舎になり2回目の幹事総会も無事終了いたしました。久しぶりに会員の方々とお逢いでき、話が弾みとても嬉しく思いました。相変わらずのマスク生活ですが徐々に通常の生活にもどりつつあることを日々感じています。今回の同窓会だよりの表紙にはたくさんの新校舎の写真を、宛名表紙には初期のころの瀬戸校舎聖靈乙女坂を掲載させていただきました。時代の流れを感じ、懐かしい聖靈を思いだしていただけたら幸いです。思うように活動できない日々ですが、母校のために役員一同精一杯努めてまいります。皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

同窓会会長 成瀬由佳
(33回生・旧姓 岡部)



学校長
マイケル・リンストロム

卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。
新校舎に移転して以来、もう3年目になりますが、新しくなったキャンパスを皆さんにまだ披露できていないのは本当に心苦しいことです。感染状況がもう少し治まつたら、見学会を必ず開きます。

ところであと2年で聖靈中学・高等学校は、創立75周年を迎えます。記念誌を発行するのに、去年から、いろいろな古い資料を調べ始めました。その中に、生徒会発行の「名聖新聞」に載った初代校長シスター・マルチンヒルデ(1949~1961)の文章を抜粋してまとめた小冊子が見つかりました。教養ある校長の文章は格調高く、聖靈生への愛に溢れているものばかりです。たとえば、「天主はわたしどもの父であり、わたしどもは天主の子である。」という言葉にあるように、授業で教えた知識の他に、シスターは、父親のように私たちを大切にいらっしゃる神様への信頼をも生徒たちによく伝えました。

父なる神様のご加護が卒業生の皆さんに豊かに与えられるように私も切に祈っています。今まで母校を物心両面で支えていただき、まことに感謝しています。

追記： 初代校長のことばが載っている「名聖新聞」の原本はまだ見つかっていません。1951年から10年ぐらい発行したこの新聞を持っている卒業生がいらっしゃれば、ぜひ本校までご連絡ください。75周年記念誌のために使いたいと思います。

退職されました



永井 ひろみ先生
(1981.4月～2022.3月 英語)

月並みですが、36年間の聖靈での日々は、本当にあっという間でした。それ以前に7年間、公立学校に勤めていた私にとって、カトリック校である聖靈での生活は全てが新鮮で、驚きの連続でした。初めの頃はシスターと話すのに、とても緊張していました。そんな私でしたが、赴任して最初の年に杉若先生のクラスの副担任として配属され、手取り足取り先生からご指導いただけたことはとてもラッキーでした。生徒を「叱るのではなく、諭すこと」と教えていただいた時は、目からウロコが落ちた思いでした。聖靈の生徒たちが優しく穏やかであるのは、過去から受け継がれてきた細やかな指導の賜物もあると思います。素晴らしいこの聖靈で皆さんと一緒に過ごさせていただき、幸せな教員生活を送ることができました。退職した後は、そんな日々を懐かしみながら長年の夢であった晴耕雨読の毎日を送るつもりです。同窓生のみなさん、本当にありがとうございました。



小池 洋子先生
(1988.4月～2022.3月 社会)

私は大学卒業後、幸いにも母校に奉職することとなりました。この時期は新たな教育活動が次々と展開され、中学卒業論文、EVE, My青春!などの行事も創設されました。生徒はこの様な活動を通して人の関わりを学び、自ら考え視野を広げ、さらに思いやりの気持ちを育み、聖靈生「光の子」となっていきます。そして聖靈生にとって聖靈は互いを認めあい、学びあい、助けあい、励ましあって、共に成長していくことができるかけがえのない場所になります。卒業生と話をしていると必ず感じことがあります。それは卒業して何年経っても、進んだ道は違っていても、互いに助け合い、強い絆で結ばれていることです。そして一人ひとりが、家庭や職場や地域などの周囲の人たちと共に幸福になるための努力を、惜しまないことです。今も「光の子」であり続けている彼女たちのことを誇らしく、とても嬉しく思います。最後に、同窓生の皆様、そして私が聖靈で出会うことができた全ての方々に心より深く感謝いたします。



竹内 良彦先生
(1992.4月～2022.3月 国語)

聖靈で過ごした30年は本当にあっという間でした。この30年でずいぶん変質した自分を実感しています。生徒指導に明け暮れしたこと。進学支援に心血を注いだこと。定員割れの状況をVAPで乗り越えたこと。聖靈マインドを新校舎に吹き込もうと腐心したこと…。そして何より聖靈の生徒たちに救われ、助けられた歳月でした。地位も名誉もお金も残せなかつた晩年ですが、「聖靈の教え子」というとても大切な「人を残す」ことができたのではないかと締めくくる自分が、今います。我が思考法を引き継ぎ、苦しみながらも人生を楽しめる教え子たちがいてくれるのであれば、これに適う至福はありません。退職後は近くの古民家をお借りして学校のまねごとをしてみようかと思っています。ぜひ遊びに来て下さい、みなさんとの再会を願っています。

重井 みどり先生 (数学)

工藤 保代先生 (宗教)

水野 貴仁先生 (数学)

浅見 由貴先生 (英語)

加藤 清香先生 (美術)

加藤 夕奈先生 (体育)

西村 聰 先生 (体育)

大野 麻衣先生 (情報)

2022 同窓会だより 第35号

2021年12月26日
65回生

2022年1月4日
66回生

はたちの会

名古屋マリオットアソシアホテル

桃の節句も過ぎ、風にも日差しにも春らしさの感じられるこころとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。先日は、聖霊高等学校第65回生はたちの会にお越しいただきましたありがとうございました。2021年1月4日に予定されていたはたちの会を、世の中の状況を見てより安全に、より楽しく開催出来るよう約1年延期しての開催でした。1年待った分、お世話になった先生方や同級生との久しぶりの再会に喜びが増し、在学時代に戻ったような雰囲気を感じられたことがとても嬉しかったです。参加してくださった皆様の笑顔は1番の思い出です。また再開したときに「変わったね」「変わらないね」なんてお互いを褒め合ったり、他愛もない話で笑い合ったりできるよう、一歩ずつ成長していきましょう。皆様にたくさんの幸せが舞い込みますように、願ってあります。

65回生はたちの会
代表幹事 竹川のか



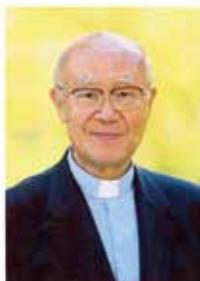
暑気日ごとに厳しさの増す今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。先日は、聖霊高等学校第66回生はたちの会にお祝いの品を頂きましてありがとうございました。先生方や参加者の皆様のおかげで素晴らしい会を開くことが出来ました。はたちの会当日は2年ぶりにも関わらず、先生方も交えて在学時代と変わらない笑顔や笑い声によるタイムスリップしたかのような楽しい時間を過ごすことができました。そして、聖霊での懐かしい思い出の写真やビデオを振り返り、改めて良き友人に恵まれ、生徒に寄り添って教鞭に立ってくださった先生方のいる聖霊高等学校で高校時代を過ごせてよかったです。これからも高校生活で得た明るさで皆様がご活躍できますよう、願ってあります。

66回生はたちの会
代表幹事 中川 稀理



本校のために永くご尽力いただきましたお二人の悲報に際し、心よりご冥福をお祈りいたします

本校で2002～2008年に校長を務めていらっしゃった大橋神父様が2022年1月28日に帰天されました。長崎南山中高の校長、南山短期大学の学長など長年にわたり青少年への教育と、神学生の養成に尽力されました。聖靈では、毎朝、玄関を掃除しながら登校する生徒たちにあいさつされていた姿が印象的でした。最後まで謙虚で優しく、生徒、若者、後輩に寄り添い支える良きアドバイザーでした。



神言修道会司祭
故 マルチノ 大橋 嘉男
Fr. Martino Yoshio Ohashi, SVD
1932.2.28 - 2022.1.28

すべてのものは、神から出て、
神によって保たれ、神に向かっているのです。
榮光が神に永遠にありますように、アーメン。
(ロマ 11:36)

本校で2007年まで務めていらっしゃったシスター・イルマが2022年3月5日帰天されました。

1982～83年にかけて、一美詩集を作成されており、雑誌の切り抜きや絵葉書と共に詩が書かれています。追悼の意を込めて、その詩集から1篇ご紹介いたします。



聖靈奉仕布教修道女会
故 Sr. Irma, SSpS
木全 一美
1937.12.27 - 2022.3.5

主が心ひかれあなたを選ばれたのは
ただあなたに対する主の愛ゆえである。

(命記 7:7.8)

聖靈時報より引用



学校からのお知らせ

News from Seirei

聖靈の近況

VAP選考入試も7年目となり、この入試を通じて、聖靈が目指す教育・人間像を多くの方にご理解いただけるようになってまいりました。その結果、昨年度に引き続き2022年度も200名の新入生を迎えてスタートすることができました。同窓生の皆さまのご紹介や、社会で活躍される姿を見て聖靈に興味を持ったというお声を、いつも多数いただいております。本当にありがとうございます。

そして、今年度、コロナ禍3年目にして初めて、新校舎にて中高6学年そろっての文化祭を開催することができました。ご家族(保護者と兄弟姉妹のみ)もお招きし、高校3年生の喫茶や父母の会カリタスによるバザーも行いました。

さらに、中学体育祭や陸上競技会もそれぞれ3学年そろって実施するなど、徐々にではありますが、感染症対策と両立させながら、聖靈らしい日常を取り戻そうと生徒たちも頑張っています。一連の大きな行事を終えた生徒たちの表情は充実感に満ちたものであり、仲間と協同した経験を得て、ひとまわり大きく成長したことを大変嬉しく感じております。

今後も、聖靈そして後輩たちを応援していただけたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

硬式テニス部OG会

2022年5月22日快晴の空の下、硬式テニス部中筋先生とのプレーを楽しみに、東山テニスセンターに部員とその家族が集まりました。

コロナウイルス感染拡大防止措置が解除されて間もない開催であったため、人数は少なめでしたが、先生は相変わらず元気そうで、久しぶりの部員とのラリーを楽しんでおられました。休憩時間には子連れで参加した部員の赤ちゃんをあやす中筋先生、その眼差しは優しく、温かいものでした。

テニス後は、数名のメンバーが合流してハ事プランパンでのブチ懇親会。

先生の懐かしいお話に、参加者全員が楽しそうでした。

次回は、3年後を開催予定としています。

コロナが終息して、たくさんのメンバーが集まれますように。

幹事 尾林美香(加藤) 西垣あい(浅野)



活躍する聖靈生

高校ゴルフ部

High school golf club



伊藤保徳瀬戸市長を表敬訪問した時の様子
2022年度全国高等学校ゴルフ選手権大会
文部科学大臣旗争奪 第43回団体の部 9位タイ第11位

高校ソフトボール部 high school softball club



武井咲樹さん 樋口ゆらさん
第77回国民体育大会に、高3樋口ゆらさんと高2武井咲樹さんが愛知県代表選手として出場

小泉信三 小論文コンテスト Shinzo Koizumi Short essay contest

第46回小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト
この賞は、慶應義塾大学が高校生の文章表現能力の向上に寄与するために主催するもので、第41回と第43回に続き、今回は2名が入賞する快挙となりました。



【小泉信三賞】
高3 平野 瑞理
「日本人の気質から考える『絆』と『社会』」

【佳作】
高3 加藤 萌歌
「SNS時代に『言論の自由』の本質を考える」

中学テニス部 Junior high school tennis club



2022年度第49回全国中学生テニス選手権大会
団体の部 ベスト16

中学ゴルフ部 Junior high school golf club



2022年度全国中学校ゴルフ選手権大会
文部科学大臣旗争奪 第15回女子団体の部 第2位

ウクライナ支援 Ukraine support

高2リーダーがウクライナについて考え、支援するための企画を行いました。学校だけではなくパルティセとでも募金活動を行った他、53名の生徒が集まってウクライナ国家を歌い、ウクライナの方々へ思いを馳せました。この様子は学校のHPから公式Facebookでも見られます。



ここで紹介できなかった頑張っている聖靈生は、まだまだたくさんいます。活躍の様子は学校HPをご覧ください

2022年度 幹事総会

2022年度幹事総会を6月22日(水)に
聖靈高等学校内で開催し、
2021年度事業・会計報告等をいたしました。



2022年度 同窓会役員名簿

名誉会長	吉田 章子	5回生
会長	成瀬 由佳	33回生
副会長	木下 博美	24回生
	西尾 真ゑ	38回生
書記	平井 奈巳	41回生
会計	山本 芳子	38回生
	加藤 久美	41回生
監事	栗木 啓子	26回生
	光岡 初美	28回生
特別顧問	マイケル・ リンクストロム	学校長
顧問	堀田 映子	5回生

聖靈高等学校同窓会決算報告書					
2021年度					2021年3月31日
					既存会員
収入の部					内訳
会員費	15,936,243	15,936,343	0		
会員登録料	2,700,000	2,726,000	△26,000	2020年度(157回生)12,000円×238名	
文化・活動費	166,000	0	△166,000	2020年度(157回生)	
会員登録料	1,202,000	1,014,000	△188,000	2020年度(157回生)	
会員登録料	0	866,730	△866,730	2020年度(157回生)	
会員登録料	626,000	475,000	△151,000	2020年度(157回生)	
会員登録料	217,460	217,460	△0	2021年度(158回生)	
その他	12,000	69	△11,931	会員登録料	
合計	18,676,000	19,135,812	△457,807		
(支出の部)					
会員費	600,000	241,771	△358,229	交通費含む	
会員登録料	58,000	15,820	△42,180	会員登録料	
会員登録料	1,200,000	1,235,580	△35,580	会員登録料	
会員登録料	800,000	615,912	△184,088	会員登録料	
文化・活動費	160,000	0	160,000	文化・活動費	
会員登録料	200,000	184,963	△15,037	会員登録料(高校・園(中学))	
会員登録料	20,000	0	20,000	会員登録料	
会員登録料	60,000	40,000	△20,000	会員登録料	
会員登録料	60,000	65,800	△5,800	会員登録料	
会員登録料	15,000	2,000	△13,000	会員登録料	
会員登録料	600,000	330,400	△269,600	会員登録料	
会員登録料	30,000	0	30,000	会員登録料	
会員登録料	1,600,000	0	1,600,000	会員登録料	
会員登録料	1,200,000	1,175,500	△24,500	会員登録料(高校・園(中))	
会員登録料	11,944,905	15,288,660	△3,344,655	(予備金)	
合計	18,676,000	19,135,812	△457,807		
現金余欠					
現金余欠	3,056,472	收入の部	支出の部	現金余欠	増加額
現金余欠	915,000	0	915,000	現金余欠	△1,122,472
現金余欠	600,000	0	600,000	現金余欠	△54,400
現金余欠	8,890,000	5,199,469	2,309,532	現金余欠	△9,920,469
現金余欠	11,600	0	11,600	現金余欠	△11,600
現金余欠	15,936,343	0	15,936,343	現金余欠	△0
収支総額合計					
収支総額合計	15,936,343			収支総額合計	15,288,660

収支の結果、修正であると認めます。
ユウスケ年 6月 9日 担任 山縣 忍(早川)
担任 宮本 哲子

退任・新任者挨拶

退任

22回生 半田 好恵(相原)

お世話になった聖靈に少しでも恩返しが出来たらと思い、同窓会に通い始めて早20年が経ちました。同窓会の行事などで多くの方々と関わりが出来ましたことは、私の大きな財産となりました。退任はいたしますが、これからも陰ながら同窓会の発展を願っております。長い間大変お世話になりましたありがとうございました。

25回生 山縣 忍(早川)
3年間同窓会監事を務め、この度退任いたしました。コロナ禍の任期で総会等も規模を縮小しての開催でしたが、同窓会室での執務は楽しく行うことができました。ご協力いただいた役員のみなさまに感謝申し上げます。聖靈高等学校同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

新任

41回生 平井 奈巳(市岡)

今年度から同窓会で書記としてお手伝いさせて頂く事となりました。同窓会で少しでもお役に立てる様、頑張りたいと思います。宜しくお願いいたします。

41回生 加藤 久美(滝川)

この度、同窓会役員をさせて頂くことになりました。先輩方にご指導頂きながら、母校のために微力ではございますが、お役にたてればと思っております。

28回生 光岡 初美

この度、監事のお声掛けを頂き、ご縁だと思い、再び同窓会に参加させて頂くことになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

68回生 入会式

2022年2月28日

谷澤 芹菜

この度は入会式を開催していただきありがとうございました。卒業式の前日ということもあり、少し寂しさがある中での入会式でしたが、お話を聞いて卒業しても光の子であることは変わらないと感じました。これから私たちはそれぞれの道に進み、毎日顔を合わせることはなくなります。しかし、これからも聖靈生の卒業生としての誇りを持って生きていきたいと思います。また、これからは卒業生として聖靈に貢献できればと思います。



「はたちの会」のお知らせ

お問い合わせは各クラス幹事まで

67回生

日時: 2023年1月4日(水)17:00-19:00
場所: ヒルトン名古屋

還暦を楽しむ会について

25・26・27回生

2023年10月開催予定 詳細についてはお葉書をご案内します。

同窓会
からの
お願い

会則第16条改定により卒業されて11年の方より年会費￥2,000を同封の振込用紙にて徴収いたします。同窓会事務局はボランティアにより運営しております。現在必要経費の増加などにより厳しい状況になっております。同窓会の円滑な活動と発展のため、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。(年会費対象者第1回生～58回生)

ご家族、友人等で亡くなられた会員の方がありましたら、聖靈高等学校同窓会事務局までお知らせください。

お忙しい中、第35号
同窓会だより作成にあたり、
ご寄稿等ご協力賜りました皆様、
ありがとうございました。
略儀ながら紙面をもって
お礼申しあげます。